



《JJN スペシャル》

これだけは知っておきたい 糖尿病

樹田 出= 編

定価 2310 円(本体 2200 円+税 5%)

医学書院 ☎ 03-3817-5657

昨年7月に、11年ぶりに診断基準が改訂されたことに加え、検査方法の迅速化、新しい治療薬の登場と、糖尿病の療養生活の改善に大きな期待が寄せられている。本書は、第一線の糖尿病専門医や専門看護師をはじめ、糖尿病患者を、療養生活と日常生活習慣の面から支える幅広い執筆者によって、患者の自己管理を支える視点で書かれている。糖尿病の基本的知識や、臨床で役立つちょっとした知恵など、糖尿病を専門としない医療職や合併症のケアにあたるスタッフにもわかりやすい。ペテランの情報整理にも最適。

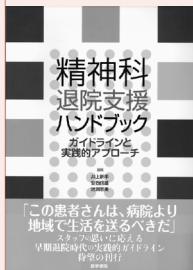
精神科退院支援ハンドブック

ガイドラインと実践的アプローチ

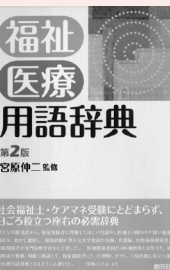
井上新平、安西信雄、池淵恵美=編

定価 3990 円(本体 3800 円+税 5%)

医学書院 ☎ 03-3817-5657



厚生労働省の班研究により作成された、わが国初の精神科長期入院患者に対する「退院支援ガイドライン」を第1部に収載。第2部では、ガイドラインで示された原則を踏まえて、患者の地域での生活を支援するためのプログラムの策定・実施について詳細に、かつ具体的に解説している。早期退院に取り組み施設の事例の紹介に、希望が見える。



医療の在宅化が進むなか、福祉・介護の現場では医療依存度の高い人々を受け入れるケースが増加している。本書では、福祉・医療の現場で働く人々のために、2000語を超える医療用語を選別、わかりやすい記述で解説した。社会福祉士・ケアマネジャー受験用にはもちろん、日々のケアの現場で活用できる、まさに「辞典」!

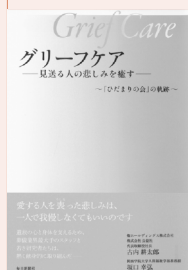
グリーフケア

見送る人の悲しみを癒す——「ひだまりの会」の軌跡

古内耕太郎、坂口幸弘=著

定価 1365 円(本体 1300 円+税 5%)

毎日新聞社 ☎ 03-3212-3257



著者の2人は、葬儀社の代表と死生学を専門とする大学教員。映画「おくりびと」以来、葬儀社で働く人や納棺師の仕事への関心・理解が深まるなか、自分たちの仕事の社会的意味を問い続け、死別の悲しみにある人たちに寄り添おうとする「ひだまりの会」の活動は、宗教色の希薄な現代社会のグリーフケアの場として意義深い。

人間とは何か 実存的精神療法

ヴィクトール・E・フランクル

山田邦男=監訳

定価 3990 円(本体 3800 円+税 5%)

春秋社 ☎ 03-3255-9611



心理学者フランクルの遺した言葉の数々は、私たちに生きることの重さや希望の強さを届ける。邦題『愛と死』で長く親しまれてきた本書が、前書の訳語を尊重しつつ、その後の加筆修正、補遺を加えて生まれ変わった。病や目の死、突然の災難などを抱えた人々に寄り添う医療職に、ぜひ薦めたい。原題は『医師による魂への配慮』。